

森林吸収源インベントリ情報整備事業ブロック別地域講習会 東北海道ブロック

開催日：2012 年 9 月 10 日（月）～11 日（火）

場所：北海道富良野市（調査地点コード 012530）

講師：相澤・伊藤（森林総研北海道支所）

金子・阪田（森林総研本所）

概要

東北海道ブロックの現地調査を受託した株式会社クリタスの 4 名と関連会社の株式会社栗元地質の 3 名を対象に現地講習会を行った。現地調査を担当するのはクリタスの 2 名と栗元地質の 2 名で、調査時には他のクリタス社員と他社作業員も加わるとのことであった。クリタスは昨年度西日本ブロックの調査を担当したほか、第 1 期にも北海道ブロックの調査経験があり、今回の 4 名は 2009 年に北海道支所構内で行った講習会に参加していた。参加者はいずれもインベントリ調査か高尾の講習会の経験があったため、今回の講習会は講師による実演は行わず、通常の調査に講師が同行して助言する形で行った。調査地点は富良野市の南部で東京大学北海道演習林内であった。

10 日 8 時 45 分に調査地に通じる林道のゲート前に集合した。GPS を頼りに道を探しながら調査地点脇に到着し、挨拶と互いの自己紹介の後、10 時過ぎ頃調査を開始した。調査地点は林道のすぐ近くにあり、クマイザサが全域を覆っていたが緩傾斜で見通しが効き、林内の移動は容易であった。前日から北海道には珍しい大雨となり、時折激しく雨が降る中で枯死木調査を開始した。ラインインターセクト法では倒木の分解度と残存率について説明を補足した。一部に伐倒木の幹と枝条が積み上げられた場所があり、5cm 以上の太枝が多数あったため測定に時間がかかった。立枯木と根株の全数調査は対象木がなかった。地上に露出した根株が一つあったが、腐朽が進んでいくつかに分かれ、原型を復元することができなかったため対象外とした。このような場合は写真だけ撮って送付するよう説明した。近くにあった大径木の切り株を例に根株の測定法を説明した。腰ほどの高さのある巨大な根株であったが、根張りが大きいため地際までが高く、地際高は上部で 10cm 少々、下部で 2cm 程度であった。昼になっても天気が回復する兆しがなく、天気予報によると翌日の方が雨の影響が少なそうであったため、炭素蓄積量調査は翌日に行うこととし、昼食後に調査を打ち切った。

翌 11 日は 7 時半にゲート前に集合した。8 時に調査地に到着したが、雨は前日にも増す激しさであった。本来はこのような大雨の時は調査を行うべきではないが、講習会の日程上やむをえず行うこととした。N 地点と E 地点に雨よけのシートを張り掘削を開始した。シートの端からは滝のように雨水が流れ落ちる状況であったが、土壌断面は普通に作製することができた。調査地の土壌は火砕流堆積物を母材としているため浸透能が大きいと考えられる。E 地点は伐倒木の枝条が積み上げられており、脱落した針葉が堆積していたため

L、F 層の量が多かった。このように通常の堆積状態と異なる場合は野帳の L、F 層の備考欄に状況を記入するよう説明した。また、E 地点は林道の直下であり、表層 15cm～30cm 程度までを土砂が覆っていた。本来の A 層と上に載っている土砂が入り交じっている深度では、採取時に断面内の両者の比率を反映するように幅広く採取する必要があることを説明した。断面の掘削、整形と撮影、記載を分業で行っていたが、先行した N 地点の記載が済むまで E 地点の撮影ができず、役割分担が非効率であると感じた。

N 地点、E 地点の調査終了後、それぞれ W 地点、S 地点の調査を行った。昼頃には雨が弱まり、W 地点は雨よけシートを張らずに断面を作製した。W 地点は 12 時 15 分頃に試料採取を終了し埋め戻しを行った。S 地点はその頃堆積有機物層の採取を開始した。本所から来た講師の帰りの便の時刻が迫っていたため、12 時 30 分に一旦調査を中断し、講評を行い、講師は帰途についた。

野帳記載や試料採取では経験者が助言するなど、調査チームとしての体制は十分信頼できると考えられた。ただし講評でも指摘したが、複数の断面を同時に作製する場合は断面の撮影と記載を 1 人が担当するのは待ち時間が生じて非効率となることがある。全員が断面記載を担当できるようにし、各地点の調査を同等に行えることが理想である。今回は大雨の中で講習会を行った。土壌断面作製と試料採取には支障がなかったので続行したが、土が水を含んで泥状になると定体積試料の採取ができない。また、堆積有機物層の判別も濡れていると困難になる。道中の安全も考慮すると大雨の時には調査を行わないことが望ましい。



雨の中での林相写真撮影



枯死木調査ライン長の測定



枝条が堆積した場所での倒木調査



雨の中で E 地点の掘削



土砂が載った E 地点の断面



E 地点での円筒採取